

この世にいない 子供は一人もいない



教育随想

岡崎平和学園

理事長 堀田 晋 氏

児童養護施設とは、「保護者のいない児童、虐待されている児童など、環境上養護を要する児童を養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とした施設」のことです。

平和学園の園長として勤務を始めた頃、学園には、二歳から十八歳までの子供たち七十名が暮らしていました。食堂は狭く、互いに肩をすぼめて食事をするような有様でした。職員に向かい「ソースを持ってこい」と怒鳴る子供もいました。暗くて狭い部屋、狭い食堂、衛生的でないトイレ。この環境では子供の心は癒されないと考え、木の香漂う部屋、トイレの改修、食堂を広げるなど、まずは環境面を変えることに取り組みました。

環境は少しずつ改善されました。それでも、心を痛める場面や出来事はいくつもあります。夜眠れず「お母さんに会いたい」と泣き叫ぶ子供たち。保育士は、「もうすぐ、お母さんが迎えに来るよ」と抱いて寝かしつけますが、それに対して「私って偽善者なんですわ」と子供に嘘をついていることに悩んでいました。また、ある時、祖父母に会うために自転車で塩尻まで行ったのに相手にもされず、泣く泣く岡崎に戻ってきたという中学生が入園してきました。「君」と言い出しました。そこで、私は「君

は学園に入りたいと思っただけでもない。学園が好きでないかもしれない。しかし、私たちは君が好きだし、君は学園にとっても大切な子なんだ。勉強ができてほしい」と彼に伝えた。そう論じていると、彼の目から涙が溢れてきました。

マザーテレサの言葉に「最も悲惨なことは、飢餓でも、病気でもない。誰からも見捨てられていると感じていることだ」とあります。まさにこの子らは見捨てられた状態であったのです。

とにかく、子供たちには「君はよい子だ」と言い続けました。なぜなら「君は悪い子だ」と言えば百パーセント悪い子になるであらうし、「よい子だ」と言えば、よい子になる可能性がある、その言葉に賭けたからです。

心から嬉しいと思う瞬間があります。それは卒園生が自分の子供を連れて遊びに来たときです。卒園生が、我が子に、私のことを「おじいちゃんだよ」と言うと、その子供たちが屈託のない笑顔で「じいちゃん」と飛びついてきます。このひとときは、多くの孫ができたようで本当に嬉しくなります。

二〇二〇年四月、六ツ美南部小学校・六ツ美中学校区の国正に、学園を新しく移設しました。一人一部屋の快適な住環境の施設です。嬉しそうに駆け寄ってきた女の子



(ほった すすむ)



令和2年12月1日

12月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
岡崎平和学園 理事長 堀田 晋 氏
- この人に聞く…………… 2
「万足平を考える会」会長 梅村 奉英 氏
- 羅針盤…………… 2
山中小学校 校長 小川 真奈美
- ふれあい…………… 3
六ツ美西部小学校 教諭 伊豫田 美奈子
- 特集…………… 4
地域防災を支える 防災・災害ボランティア団体の取り組み
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー…………… 8
学区民と共に創り上げた学び舎 (昭和24年)
- この本を…………… 8



「猪垣を守り、継承する」

「万足平を考える会」会長
梅村 泰英氏

「万足平を考える会」は、「万足平の猪垣」の保存修復をするために地元の有志が集まり、平成十七年に設立された。毎月、活動日を設定して、猪垣の修復作業に取り組んでいる。猪垣の魅力や会の活動を全国に発信する「シン垣サミット」を平成三十年に、岡崎で開催。梅村氏は設立当初から会の運営に携わり、現在は第四代会長として会を牽引している。

「なぜ猪垣の修復活動を始めようと思ったのですか」

万足平の猪垣は、昭和五十六年に愛知県の有形民俗文化財に指定されました。しかし、管理する団体はなく、存在が分からないほど草に覆われ、随所で石が崩れていました。猪垣は、田畑の作物を荒らす獣の侵入

を防ぐため、江戸時代の農民らが石を積み上げて造ったものです。私も万足平に田を所有する者の一人として、地域の財産である猪垣を修復し、守っていきたくと思ったのです。

「猪垣の修復作業で大変なことは何ですか」

猪垣には、イノシシに乗り越えられないための工夫がいくつもありません。上部が山側へ反った「シシ返し」があり、ひづめを掛けにくい構造が特徴です。全長は六一二メートルもありますが、私たちが一回の修復作業で積めるのは、せいぜい長さ二メートルです。反りを再現することは難しく、崩れないように、まっすぐに積むことしかできません。

しかし、石を積むのはジグソーパズルに似た感覚があり、とても面白いのです。石の面と面の重なり、下の石への重さのかけ具合などを考え、ベストな置き方を探して、手で積み上げていきます。うまく積むことが出来たときは、大きな達成感を感じます。

「地域の文化財を守るために大切にしていることはありますか」

人と地域をどうつなぐかについて考えています。猪垣の大切さや会の活動の様子を知ってもらおうと、会報を発行し、地元の方には会への参加を呼びかけ続けてきました。おかげで、会員は設立当初の二十名から四十二名に増えました。多くは高齢者で、地元のために集まって楽しみながら作業をしています。しかし、

それだけでは地域の財産を守ることができません。世代を超えて、継承していかなければ意味がないと思っています。そこで、地元の小学生やその保護者に呼びかけて、石積み体験学習会を行っています。子供の手で、猪垣の崩れている場所へ石を一つずつ運び、形や大きさを考えて丁寧に積み上げていくのです。直接、猪垣に触れてもらうことで、子供たちと地域とをつなぎたいと考えています。

「岡崎の子供たちにメッセージをお願いします」

猪垣には、子供でも手にすることが出来る小さな石ばかりで積み上げである箇所が見られます。昔の子供たちは家族の命を守るため、大変な思いをして猪垣造りの手伝いをしていたのです。機械のない時代に必要だったのは「人の手」でした。今を生きるみなさんの手が、これまで頑張ってきた人たちの歴史を守り、新しい未来を作っていくと思います。身近なところに大切なものはたくさんあります。それに気付いて、自らの手を差し伸べられる人になってくれることを願っています。



氏名 うめむらともひで
生年月日 昭和二十五年五月二十日
住所 岡崎市石原町



新たな学びを生み出す

山中小学校
校長 小川 真奈美

「教えてもらっていないから分からない」と、先生を待っている子供がいる。「分からないことを分からないと言えのが理想的な教室」と、職員にも子供たちにも言っているのが、「分らない」は大歓迎だ。しかし、教えてくれるのをただ待っている子供たちを見ると不安になる。

そもそも学習とは、まず自分で考え、その上で分からないことを自分なりに手段を講じて解決する、極めて主体的で能動的な活動である。

それを実現させるには、教師が一人一人の子供にじっくりと寄り添う必要がある。しかし、三十五人、四十人が相手となると難しいのは確かだ。だから本気になって取り組みまなくてはならない。

先が見えない今だからこそ、目の前の課題に目を向け、自ら解決しよう



人と関わること

六ツ美西部小学校

教諭 伊豫田 美奈子

休み時間は読書をして過ごすA。自分の思いを話すことはほとんどないが、授業のノートにはそのとき感じたことや考えたことが豊かに書かれている。

学校は、様々な考えをもつ人たちが集まっている。だからこそ、人と関わる楽しさや喜びを感じる事ができる。Aにもその喜びを知ってほしい。そして、Aのよさをみんなに分かってほしい。明るい表情で学校生活を過ごしているAをたくさん見たいと思うようになった。私は、Aの得意分野を生かし、国語科の話し合い活動に取り組むことにした。思いを伝え合い、共に考える経験をすることで、Aが、人と関わるよさを感じ、新しい価値を見つけることができるだろうと考えた。

ある日、『国語科』『だじょうぶだ いじょうぶ』の場面分けの話し合い

を終えて、Aが不満そうにつぶやいた。「話し合いをしても、最後に先生が答えを言って終わるんだよね。」

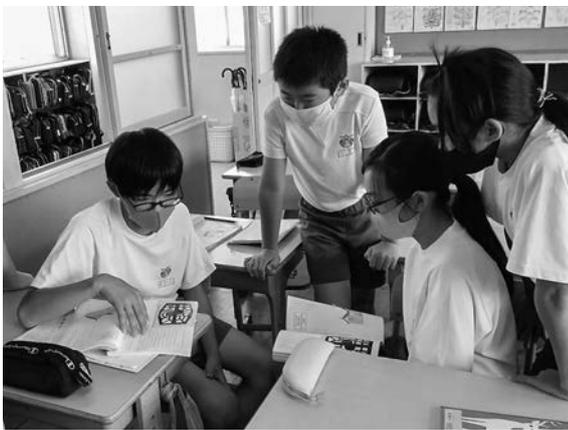
鋭い指摘に、私は動揺した。話し合いは暗礁に乗り上げ、もう私がまとめてしまおうかと思っていたからだ。しかし、Aの言葉を聞き、Aの世界を広げるとともに学級全体の学びを深めるため、次の時間も話し合いを行うことにした。

すると、Aが休み時間に読む本は、いつしか国語の教科書になっていった。Aは、みんなが納得する答えを見つげるために、のめり込むように教科書を読んだ。教室のどこかで国語科の話し合いの話題が出ると、聞き耳を立てて話を聞こうとした。その姿から、Aの中で何かが変化し始めていたのを感じた。

次の日の話し合いのことだ。Aの顔が一気に曇った。Aは、「ずいぶん」という言葉にこだわって意見を述べたが、学級の賛同を得ることができなかつた。私は、みんなにAの思いに気付いてほしいと考え、学級全体に、部分的にでもAの意見に賛同する発言を促した。すると、Bが「ずいぶん」という言葉の意味が分かって、なるほどと思った。今まで挿絵を気にしていたけど、言葉を中心に考えるのもいいなと思った。」と発言した。Bは、Aと違う意見をもちながらもAの意見を肯定した。

それをきっかけに話し合いは、賛成・反対ではない、認め合う話し合いに変わっていった。Aは、自分の意見を価値付けられたことで、次第に安堵した表情になった。私は、AとBの関わりを深めたいと思い、Aの前でBがAを認めてくれたことを褒め、感謝した。

話し合いが終わり、Aは笑顔を浮かべながらBと話していた。Bとの関わりは、Aの世界を広げたのだろう。Aは、「国語の話し合いの授業は、皆がいろいろな意見を言ってくれから楽しい」とうれしそうに話した。児童も教師も人から多くのことを学ぶ。人との関わりは、素晴らしいものを生み出す。それに改めて気付かされた。



うと行動する力を子供たちに身に付けさせたい。そのために教師自身が積極的に子供に考えさせ、行動させる授業を試みてほしい。

昨年、本校の六年生は総合的な学習のまとめとして、全校を巻き込んで「山小フェスティバル」を開催した。そこでは、自分の得意なことを下学年に教えるという最終目標を目指し、教える内容や方法を自ら模索する子供の姿が見られた。

このように総合的な学習では、学習の早い段階で共通のゴールを設定し、個々、またはグループで課題を解決していくプロジェクト型学習がよく見られる。この方法は他教科でも実践できる。例えば、国語の物語文を学習する際、単元の最後に、グループごとに劇や人形劇、紙芝居などで表現するという言語活動を示す。すると、子供たちは登場人物やその性格、台詞の言い方を考えるために、自ら教材文を読み始める。もちろん教えなくてはならないことあるし時間もかかる。それでも、自ら学ぼうとする姿勢をまずは、創り出したい。

他にも方法はあるだろう。教育の変革期ともいえる今、これまでの授業に固執する必要はない。自ら考え行動する子供の育成を目指し、新たな学びを生み出してほしい。

地域防災を支える 防災・災害ボランティア団体の取り組み

～市民一人一人の防災力を高めるために～

▶リーダー会の柴田さんを講師に、防災について学ぶ。(愛宕小)



- 【あいち防災リーダー会
三河ブロック 岡崎地区】
代表者：柴田 光康
連絡先：☎28-3850
- 【災害ボランティア・おかざき】
代表者：鈴木 盈宏
連絡先：☎21-5377
- 【災害ボランティア 一歩の会額田】
代表者：酒井 里美
連絡先：☎21-5377

災害ボランティアセンター（災害VC）



大きな災害時、社会福祉協議会に災害VCが立ち上がる。災害VCでは、被災者の自立復興支援のため、被災者からのニーズ（要請）を把握し、全国から集まるボランティアを受け付け、ボランティアと被災者をつないで必要な支援活動に取り組む。

阪神淡路大震災後、全国的な防災意識の高まりによる災害ボランティアセンター（災害VC）創設の流れの中、岡崎市には社会福祉協議会に登録する三つの防災・災害ボランティア団体が誕生した。それぞれの団体は、防災課や社会福祉協議会と連携して、地域防災のことを考え、市民の防災力を高める活動に取り組んでいる。

防災ボランティア団体の平時の取り組みは、防災啓発活動である。定期的な防災講座や研修会、要望があれば学校での出前授業も行い、市民一人一人の防災意識の向上に努めている。また、リーダー養成研修なども担っており、地域の防災リーダーを育てている。

災害時、災害ボランティア・おかざきや一歩の会額田は、災害ボランティアアコーディネーター（災害VCO）として支援活動に取り組む。特に大きな災害時には、被災者とボランティアを結び付け、円滑な支援活動ができるように、災害VCの運営支援やボランティアサポートに取り組む。また、各地域で行われる防災訓練に参加し、避難所運営や炊き出し訓練などの指導を行い、災害時の地域の防災力の向上に努めている。

南海トラフ巨大地震の発生が叫ばれている中、ボランティア団体とともに市民一人一人が切実感をもって、非常時に行動できなければならない。学校においても、防災教育の充実を図り、子供たちの防災への意識をさらに高めていくことが必要となるだろう。

地域での防災啓発活動



一步の会額田では、防災寸劇を通じて災害時の共助の大切さを伝える。(常磐南学区)



非常時に適切な行動がとれるように防災訓練のサポートをする。(上地学区)



学区や地域の会合に参加して、町ごとの防災マップ作成の支援を行う。(豊富学区)



災害VCOの養成講座を行い、災害VCの運営支援ができる人材を育成する。(竜美丘会館)



地域住民の防災意識を向上させるため、防災講座を行う。(やはざかん)

自分の住んでいる地域の特性を考えた避難行動をしてほしい。六ツ美地区や矢作川沿岸部は水害、液状化が起きやすい。岡崎北部は岩盤が比較的固い地域である。額田地区になると土砂崩れや森林の倒木・流木等が起きやすい。地域の立地について把握した避難行動が重要である。
リーダー会岡崎地区 代表 柴田光康

災害時支援活動



岡崎市では、平成20年8月豪雨のときには、災害V Cが設置され、被災者の支援に多くのボランティアが活躍した。(愛宕学区)



学区や地域で実施する災害避難所宿泊体験に参加し、避難所での生活方法について指導する。(形埜学区)



より多くの市民に災害ボランティアを周知する体験会を年1回開催している。(社会福祉協議会)

市民の防災力を高める6つのポイント

- どんなときも、自分、家族の命を第一に考えて行動する。「自助の意識」
- 非常時に助け合うのは隣近所であるので、日頃から仲良くすることが大切である。「共助の意識」
- 昭和56年以前の家は耐震補強が心配なので、自宅の耐震診断をする。
(岡崎市は無料)
- 日頃から家具の転倒防止やガラスの飛散防止に努める。
- 一週間分の備蓄食料を用意する。
(ローリングストックの工夫)
- 非常時の家族との連絡手段を日頃から確認しておく。
(もしもの場合…NTT171伝言ダイヤルが有効)

災害ボランティア・おかざき
代表 鈴木盛宏

学校支援活動



防災講座に参加した生徒と意見交換会を行った。(竜南中)



防災課と連携し、防災備品や避難の方法について児童に話をした。(常磐南小)

災害避難所宿泊体験(一步の会企画)に参加して、災害時に小学生のぼくにもできることがあると分かりました。いざというときは、地域の役に立つように、ぼくたちも頑張りたいと思います。(夏山小6年生)



災害避難所宿泊体験で行ったワークショップで発表する児童(夏山小)



●教育最新情報

◆令和二年度岡崎市研究論文募集

【趣旨】

岡崎市立小・中学校教職員の日頃の教育実践及び教育研究の成果を広く募り、教職員の研修と資質向上及び学校教育の健全な発展を図るとともに、その努力を顕彰する。

【部門】

- (第一部門) 個人研究 (第二部門) 共同研究

【論文の体裁】

- (1) 字数 一八、二〇〇字以内(図表、写真等の資料は、本文の範囲内に入れる。)
- (2) 用紙・様式 A4用紙、四十字×三十五行、十三枚以内(余白天地左右二十ミリ以上) 文字は十二ポイント以上(余白への資料添付は禁止)
- (3) 綴じ 縦書きの場合は、縦長右綴じ。横書きの場合は、縦長上綴じ。

【留意事項】

- 1) 体裁の異なるものは審査の対象外となるので注意する。
- 2) 応募者氏名、領域、研究主題等を、「応募一覧表」により報告する。
- 3) 応募論文は、未発表のものであること。
- 4) 添付資料は、判読しにくいほど縮小しない。
- 5) 論文の表紙には、教科・領域名、主題名、所属学校名、職・氏名を明記する。
- 6) 共同研究については、グループ名、代表者職・氏名及び全員の氏名を明記する。
- 7) 論文の表紙には、必要事項を記入したラベルを貼付する。
- 8) 表紙には、ラベルのみとし、写真やイラストは掲載しない。表紙の色は白色のみとする。
- 9) 本文は彩色しない。

【提出】

- 令和三年一月七日(木) 午前九時から
- 令和三年一月八日(金) 午後五時まで
- 二部(原本と写し)を提出 ※写しには、表紙に「写」と表示する。(写しは返却しない)

●表彰

◆第66回全日本中学生通信陸上競技大会アシックススタチャレングカップ

- 中学生の部 男子砲丸投 三位 福岡中 松田 流輝
- 中学生の部 女子一五〇〇m 一位 〆美北中 小嶋 聖来
- 女子四種競技 一位 翔南中 林 美希

◆JOCジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会2020

- 男子砲丸投 六位 福岡中 松田 流輝
- 男子走高跳 出場 北中 高木 魁里
- 女子一五〇〇m 優勝 〆美北中 小嶋 聖来
- 十四位 〆美北中 鈴木 愛菜
- 女子一〇〇mH 八位 城北中 片山 心菜
- 女子四種競技 一位 翔南中 林 美希

◆第2回愛知県中学生新人陸上競技大会

- 男子八〇〇m 一位 城北中 宮下 颯汰
- 男子三〇〇〇m 三位 城北中 神田 悦士
- 男子走高跳 二位 福岡中 大竹 翔太

◆第64回日本学生科学賞愛知県展

- 最優秀賞(読売新聞社賞) 六ツ美中 渡邊真美維
- 最優秀賞(愛知県教育員会賞) 美川中 森田 晴空
- 最優秀賞(名古屋科学館賞) 美川中 今井 雫月
- 最優秀賞(名古屋市教育局賞) 東海中 古田 るり
- 学校賞 美川中
- 新俳句大賞 佳作特別賞 羽根小 鶴田 一真

◆歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

- 愛知県教育委員会賞 岩津中 銀賞
- 二位 矢作北中 内田 詩乃
- 二位 矢作北中 大和 令奈



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	平日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

第 53 回岡崎市中学校新人総合体育大会

●団体結果

種 目	性	優勝	2 位	3 位
陸 上 競 技	男	竜 海	北	六ッ美
	女	矢作北	六ッ美北	六ッ美
バスケットボール	男	葵	美 川	甲 山
	女	竜 海	翔 南	北
バレーボール	男	六ッ美	竜 南	矢作北
	女	矢作北	葵	新香山
ソフトテニス	男	葵	河 合	東 海
	女	矢 作	竜 南	甲 山
卓 球	男	竜 海	矢作北	東 海
	女	矢 作	額 田	竜 海
剣 道	男	矢 作	矢作北	額 田
	女	甲 山	矢 作	福 岡
ハンドボール	男	美 川	竜 南	
軟式野球	男	矢作北	福 岡	竜 南
ソフトボール	女	城北・甲山(両校優勝)		
柔 道	男	矢作北	矢 作	
	女	矢 作	矢作北	
サ ッ カ ー	男	矢作北	翔 南	南
	女	矢作北	翔 南	新香山
弓 道 (オープン競技)	男	額田D	幸田北部A	幸田A
	女	幸田北部C	額田A	幸田北部D

●陸上競技(個人成績・1位のみ)

性	種 目	氏 名	校 名	記 録
男	100m	鶴 田 晴 斗	葵	11"67
	200m	天 野 薫	附 属	25"21
	400m	柴 田 大 和	矢作北	55"70
	800m	宮 下 颯 汰	城 北	2'08"22
	1500m	尾 田 悠 翼	南	4'25"11
	3000m	蜂須賀 蒼	六ッ美	新 9'27"74
	110mH	杉 浦 颯 志	竜 海	新 15"90
	4 × 100mR	藤村・橋本・清水・川瀬	北	47"21
	走 幅 跳	清 水 煉	北	5m50
	走 高 跳	大 竹 翔 太	福 岡	1m70
女	砲 丸 投	鶴 田 晴 斗	葵	7m95
	棒 高 跳	藤 村 汰 樹	北	2m60
	100m	杉 浦 千 恵	六ッ美	13"41
	200m	高 塚 虹 百	南	26"83
	800m	内 田 詩 乃	矢作北	2'20"32
	1500m	火 山 華	六ッ美	4'48"44
	100mH	大 和 令 奈	矢作北	15"11
	4 × 100mR	北林・柴田・大和・岩本	矢作北	52"26
	走 幅 跳	大 和 令 奈	矢作北	新 4m94
	走 高 跳	高 塚 虹 百	南	1m51
砲 丸 投	安 藤 瑞 七 海	美 川	新 9m92	

新…大会新記録

【上記以外で新記録もしくはタイ記録を出した者】

男子	3000m	神 田 悦 士	城 北	9'29"66
----	-------	---------	-----	---------

第 58 回 岡崎市小学校陸上競技大会

<男子総合>

1 位	大 門	44 点	2 位	井 田	31 点	3 位	岡 崎	27 点	4 位	山 中	27 点
5 位	恵 田	20.5 点	6 位	常磐南	20 点	7 位	美 合	18 点	8 位	生 平	17 点

<女子総合>

1 位	岡 崎	44.5 点	2 位	井 田	37.5 点	3 位	矢作北	37 点	4 位	三 島	22 点
5 位	恵 田	20 点	6 位	根 石	15 点	7 位	常磐東	15 点	8 位	常磐南	14 点

性	種 目	氏 名	校 名	記 録	性	種 目	氏 名	校 名	記 録
男	100m	山 田 新 悟	大 門	13"76	女	100m	太 田 優 衣	岡 崎	15"35
	5 年 100m	富 田 乃 依	大 門	14"53		5 年 100m	七 尾 沙 結	井 田	15"03
	80mH	権 田 颯 志	岡 崎	12"98		80mH	高 塚 瞳 衣	羽 根	13"98
	1000m	大 下 蒼 生	大 門	3'15"68		1000m	犬 塚 美 桜	矢作北	3'23"47
	4 × 100mR	谷澤・大谷・鳥井・大下	大 門	55"87		4 × 100mR	鈴木・大見・犬塚・岩附	矢作北	1'00"88
	走 幅 跳	伊 藤 靖 浩	山 中	3m80		走 幅 跳	高 橋 さくら	井 田	3m46
	走 高 跳	大 江 智 暁	常 磐 東	1m25		走 高 跳	大 見 由 奈	矢作北	1m20

・カ
ツ
ト

六
ツ
美
中

加
藤
朱
実

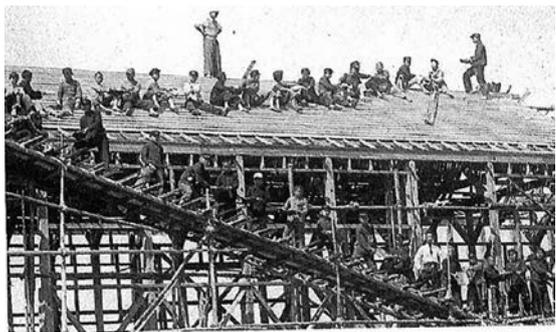
学区民と共に創り上げた学び舎 (昭和24年)

写真提供：美川中学校

昭和二十五年夏、現在の地に新校舎が完成した。写真は、学区民や生徒、保護者が一緒に新校舎建築に取り組む様子を撮影した一枚である。当時は、建築費を助けようと、砂利採取や資材の運搬等の作業を生徒、学区の力を借りて行った。

資金調達のため、毎年バザーを行い、カーテン購入や温室建造等に役立てた。現在も学区民からの寄贈品をバザーで販売し、学校教育の充実のために活用している。また、雄大な自然と理想の生徒像を詠った校歌は、学区民である保護者の作詞であり、激励の思いを感じる。

子供の幸せを願って学区一丸となる力強い姿は、今でも学校を支え、岡崎の教育の基盤となっている。



ともかくにも、二〇二〇年は変革の年であった。コロナウイルス感染症拡大により、学校は様々な変化を求められた。

そのような状況の中でも本市は、主体的、かつ、前向きな変化を遂げてきた。逆境を力に変え、確実に前進していこう。

と ホ と

朗らかに友達と会話をするA。互いに認め合う学びから、新しい自分に出会うことができた。これからも、人との関わりの中で、さらに成長していくだろう。

多くの可能性を秘めている子供たちと出会い、共に成長できることに感謝したい。

師 走 ッ



▲Zoomを利用したの遠隔授業(葵中)

繋げたいのは、世代を超えた人の輪。先人の築いた猪垣を守ることに、地域の人が心一つにして努力している。

壮大な猪垣が取り囲む里山の美しい風景。文化財が地域の宝ならば、子供たちは未来の宝。手をかけて育てる教師でありたい。



*スマホを捨てたい子どもたち 山極 寿一
ポプラ新書 ¥860

心に残った一文
本当に信頼できる人とのつながりをつくるには、時間と空間を共有し、五感を使った付き合いをする必要があります。

「インターネットで情報をやり取りして終わりではなく、会って、作業を共にして、相手の世界の中に入り、ときにギクシャクしてやること」。この繰り返しで、人間と人間が付き合うということはこういうことであると人は学んでいく。ゴリラの生態研究から述べる著者の考えは、興味深い。

コロナ禍の今、直接会わなくても画面を通して人と人がつながり、勉強や仕事ができるICTの凄さを実感する。学校の存在価値、意義を改めて考えさせられた一冊である。

*あなたの知らないあなたの強み 古野 俊幸
日経BP ¥1,800

*禁断の江戸史 河合 敦
扶桑社 ¥840

*渋沢栄一 人間の礎 童門 冬二
集英社文庫 ¥580

本宿小 熊谷 清一